

ふれあい広場(グラウンドゴルフ場)の除草作業を行いました!

9月10日(木)グラウンドゴルフ会員50名が参加して「ふれあい広場」の除草作業を実施した。

昨年までは土佐徹司さんが整備を一手に引き受けてくれていたが、3月に亡くなり雑草がグラウンド全体を覆っている。

午前7時30分に集合して、グラウンドいっぱいに広がった雑草を手作業で抜いて行く。高齢者が多くて作業は速いと言えないが無駄な動きはなく確実に作業は進んだ。8時を過ぎる頃には直射日光との戦いになったが、9時30分には無事終了することができた。

綺麗になったグラウンドを見つめて、この状態をどうやって維持していくのか課題は残るが、業者に頼むのではなく利用するみんなで管理するべきものと思う。



久振だより

人口2663人
1401世帯
-第149号-
発行
久玉地区振興会
発行日
令和2年10月1日



支え おぼろの会

=上揚区=



『上揚区支え愛おぼろの会』の活動を紹介します。

29年10月と30年2月、社会福祉協議会から「久玉地区支え合いに関する意見交換会」が開かれ、地域支え合いの必要性について話し合いが持たれました。

上揚区として、シルバーヘルパー、民生委員、老人会、婦人会、振興会長、区長でやれるところから動いてみようとなりました。5月から9月まで5回の話し合いを重ね、牛深包括支援センターすいせん、社協牛深支所の協力を得ながら、平成30年10月17日、地域での見守り組織、『上揚区支え愛おぼろの会』を13名にて発足させました。(現在は15名)

見守り対象者と担当者を決め、月1回の例会で情報を共有化しています。10日に1回ほどの見守り、支え合うための話し合いと住民の見える化を図っています。また、話し合いを始めて1年たった去年6月、区民の皆さんの声を聞きたいと、65歳以上の世帯39世帯、60名を対象にアンケート調査を実施し、安否確認や困りごと等の課題も明らかになりました。今は、その具体化に向け協議中です。

『ささえ愛おぼろの会』がめざすのは、住み慣れた地域で安心して生活することができて、誰もが共に支え合うまちづくりです。一歩ずつ、少しでも近づけるためにみんなで一緒に頑張ります。

上揚区長 江良安雄

久玉町芸能文化祭についてのお知らせ

令和2年度久玉町芸能文化祭はコロナ禍の為、**中止**することになりました。
但し作品展示については下記の日程で実施しますので多数出品くださいますようお願いいたします。

～作品展示日程～

11月7日(土) 午後1時～午後5時まで

11月8日(日) 午前9時～午後3時まで

※出品については久玉地区コミュニティーセンターへ申し込みの上、

11月7日(土) 午前10時～12時までに搬入をお願いします！

「不浄入るべからず」

=内の原区=

秋の取入れも近く、10月の秋祭りを前に内の原地区は恒例の「しめ縄練り」を行った。

内の原には、十五社宮と住吉宮の2つの神社があり、今まで長年それぞれの地域の守護神として崇拝してきた。

しめ縄練りは、内の原区全体の「不浄を払い、区民の幸せと無病息災」を願って鳥居に供えるもので尊い行事の一つである。

当日は朝7時より区内市道の草刈り清掃を行い、午後1時よりしめ縄練りを行った、

会場である公民館には協力者20名の区民が集合し、尾越工務店から無償提供を頂いた足場組に始まり、わらすき・わらたたきの準備の後、大縄練り・小縄練りに別れ、大綱練りは7名により「ヨイショ、ヨイショ」の掛け声で始まり、1本7メートルのしめ縄3本（十五社宮2本、住吉宮1本）が練り上がり、すべての供え物が出来上がったのは午後3時であった。

その後、それぞれの神社担当者と数名が「不浄なコロナウイルス感染症の終息」を願って出来上がった新しいしめ縄に取り換え「しめ縄練り」の行事が午後4時に終了した。

内の原区長 小田銀治



第1回くたま市民学級 「ちょっといいお歯なし」

今年度初めての市民学級は天草市社会教育指導員の吉永智昭さんによる、**ちょっといいお歯なし**

「**口腔遊びリテーション**」とは…の授業でした。

～口腔+遊び+リハビリテーション～

【口腔の機能を低下させない為に

遊びながら楽しくリハビリを行うこと】

今回は唾液が歯や口腔粘膜を守る重要な役割を持っていることを説明された上で、唾液腺を開くマッサージや舌や唇の体操を楽しくおもしろく教えていただきました。

○笑顔でうなずきゴクンはっ！

○（口で行う）むすんでひらいて！

○あいうべ体操！ などなど…

誤嚥（ごえん）・ドライマウスを予防して、これからも健康に過ごしたいですね！

参加者 20 名

